



## ●大学進学も考えている君に

この春の日本全国のデータでは、全ての高校生の70%が大学に進学したということです。また全国の商業高校の生徒も3人に1人大学に進学しました。みんなの保護者や先生達の年代は20%程度でしたから、大学に行くのは5人に1人位だったのです。高校に行くのが当たり前の時代から、大学に行く時代にまさに切り替わろうとしていると言えます。もし可能ならば、大学進学という選択肢は十分あります。今一度、本当に自分のやりたいことは何かを考えてみるといいでしょう。

## ●大学への道筋 あれこれ

大学に行く方法は色々あります。改めてそのメリットとデメリットを比べて見ましょう

### ◆一般入試◆

入学試験を受けて、成績順に合格が決まります。「一般」というのですから、これが普通の受験の仕方です。大学を考えるなら、この方法で受験することを考えましょう。

この方法が好まれる最大の理由が、「合格の確実性・可能性が最も高い」からです。推薦というのはある意味賭けですが、一般入試はA判定なら確実に受かるからです。

でも、普通科では模試を全員受けていますが、A判定の人はいません。それは当たり前です。最後にAにするのです。今はDやEの判定でも、これから1年、2年かけてA判定になれば合格です。

また、推薦が「専願（1校しか受けられない）」であることに対して、一般入試は何校でも受けることができます。「10校受けて3校受かった！さてどこに行こうかな～」と、「選べる」のも魅力です。

商業科の人も大学を考える人は2年の2月から模試を受けます。また、希望すれば1年生でも模試を受けることができます。担任の先生に相談してみましょう。

いかがでしたか？大学入試の仕組みが理解できましたか？重要なことは「大学は一般入試で行く」のが基本だということです。推薦は落ちたあとのことが心配でありお勧めできません。受かるとして受けたらまさかの不合格で、あせって勉強を始めたけれど間に合わず、仕方なく浪人となった生徒がたくさんいます。本校にもいます。また、例えば今年群大に受かった生徒は、受かる確信が先生側にあった、つまりずば抜けた何かを持っていた、ということです。そしてこの生徒は推薦を考えていませんでした。先生の方から受かりそうだから受けてみないかと勧めたのです。本来推薦というのは自分から申し出るのではなく、先生に勧められるものであることを心に留めておいてください。

また、推薦のもう一つのデメリットは、一般入試の生徒が3月まで勉強して大学に入るのに対して、推薦組は9月くらいまでしか勉強しないことがあげられます。つまりこの半年の学力差が、大学で留年、退学をしてしまう事につながっているのです。実際、今年も大学から「ついていけなくて退学となりました」という通知が来ています。指定校の3割が留年・退学というデータもあります。推薦を選ぶなら、決まっても3月まで勉強できる強い意志が必要ですね。

### ◆学校推薦型選抜◆

昨年までは推薦入試と呼ばれていました。校長先生が推薦してもよいと判断した人でないと、受けたと言っても受験することはできません。

推薦基準としては、まず生活態度がきちんとしていること。そして成績を数値化した評定平均などで判断され、生徒会などの課外活動の実績や取得資格などが求められることもあります。推薦入試の種類や大学・短大、学部・学科によって違いがあるので、基準を確認しておくことが大切です。

学校推薦型選抜には「公募推薦（公募制）」と「指定校推薦」の2種類の仕組みがあります。詳しく見ていきましょう。

■公募制 … 大学側が出す条件を満たし、かつ校長先生の推薦が得られれば出願できます。また、公募制特別推薦選抜といって「スポーツの実績や文化活動、取得資格」などが出願条件となっている入試もあります。本校ではサッカー部、スキー部やホッケー部に多いですね。デメリットとしては平均倍率は4.5倍なので、5人に1人程度しか受からないということです。本校の生徒は「推薦は受かりやすいと勘違い」している人が多いですが、これは賭けですよ。では、落ちた場合はどうするのか…。先生方はあまり勧めない人も多いです。今年は国立の群馬大学や、日本大学薬学部薬学科などに合格しました。

■指定校推薦 … 校長先生の推薦が得られれば、合格の可能性が高い制度。以前は確実に受かりましたが、昨年からは制度が改正され、落ちる人がいます。また、進学後の学業成績や生活態度次第では、後輩の推薦枠が減らされたり、なくなったりすることもあるので責任は重いです。そのため、この方式を考える生徒は模擬テストを受験し、一般受験する人と遜色ない成績を取らなければなりません。C判定以上が望ましいでしょう。E判定では学校からの推薦は受けられません。A判定なら一般入試で！その方が確実！

### ◆総合型選抜◆

去年まではAO入試と呼ばれていました。私立大学のみで、国公立にはこの仕組みはありません。推薦入試との決定的な違いは、校長先生の推薦を必要としないこと。自分の意志で出願できるということです。

書類審査と詳細な面接等を組み合わせることによって、入学志願者の能力や大学で学ぶ適性があるかどうかを総合的に判定する入試方法です。総合型選抜の実施時期は8月～12月の期間で各大学によって違い、また選抜期間は学校推薦型選抜に比べて長いことが多いです。ただ、特技など他の人と大きく差をつけられるものがないと、まず合格はありません。こちらはかなり賭けですね。

自分の進路、大切に考えていきたいね

